

2023年10月理事会議事録

日 時：2023年10月27日（金）16：00～18：40

場 所：東北学院大学土樋キャンパスホワイ記念館2階第1・2会議室・オンライン会議

出席：辻 秀人・大竹幸恵・佐藤宏之・足立佳代・足立拓朗・岩本 崇・大坪志子・岡林孝作・亀田直美・黒澤 浩・小菅将夫・澤田秀実・田尻義了・谷口 榮・谷畑美帆・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・藤沢 敦・藤野次史・溝口孝司・水本和美・山崎和巳、監事：都築恵美子・萩野谷 悟、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：高倉 純

進 行：田尻義了

議 長：辻 秀人

田尻理事から、本日の出席者は25名（うち理事23名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

議案第742号 退会会員の承認について

小菅理事から、岩手県の井上雅孝会員、茨城県の*会員から2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第743号 『見解 地域社会の継承・発展を支える文化財保護のあり方について』「要旨」の協会公式サイトへの掲載について

佐藤副会長から、当会会員で日本学術会議史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会の福永伸哉委員長から分科会で発出した「見解 地域社会の継承・発展を支える文化財保護のあり方について」を会員に広く周知するため、見解の要旨を協会公式サイトに掲載したいとの依頼がある旨の説明があり、内容的に差し支えないことから原案通り承認された。

議案第744号 2024年度総会（千葉大学）における非会員向けオンライン配信の有料化（課金）について

田尻理事から、コロナ禍以降、新型コロナウイルス対策として総会や大会にオンライン配信を導入したところ、遠隔地や育児中の会員が参加しやすいことから対面参加が可能となっても、引き続き対面とオンライン配信のハイブリッド方式で実施している。オンライン配信には回線設定料金がかかるものの、これまで全ての参加者が無料で参加でき、会員と非会員の差がないことから、非会員のオンライン配信での参加者に、2024年度第90回総会から配信料を求めることが提案された。Web上の申込フォームからの申込み時にオンライン決済システムを利用して課金し、配信料は1,000円程度で検討していることが説明され、審議の結果、非会員のオンライン参加を有料化することが承認された。

報告第957号 2023年度宮城大会の役割分担等最終確認について

藤沢理事から、2023年度宮城大会について、「大会実施要項」に基づき、9月理事会からの変更点についての説明、日程・役割分担についての確認があった。ポスターセッションは会場に加えてオンライン上でポスターデータを公開すること、次回大会開催地からの挨拶を公開講演会の閉会挨拶の前に行うこと等の変更点の説明があり、了承された。

報告第958号 2023年度上半期・副会長会務報告

佐藤副会長から、定款第24条第3項の定めにより、今年度上半期の各種行事・会議の出席等、職務執行状況について報告があった。

報告第959号 カフェde考古学第3回「三角縁神獣鏡の研究とその意義」・カフェde考古学2023第4回「考古学の仕事場から パート2 博物館編」の報告

澤田理事から、カフェde考古学2023第3回「三角縁神獣鏡の研究とその意義」を、8月12日（土）に日本考古学協会賞大賞受賞者を講師として講演とトークセッションを実施し、74名の参加を得たことが報告された。続けて日高理事から、カフェde考古学2023第4回「考古学の仕事場から パート2 博物館編」を、10月14日（土）に研究環境検討委員会担当で実施し、63名の参加を得たことが報告された。それぞれ事後アンケートによる感想や課題が説明され、オンライン上での氏名の表記や呼びかけ時の名前について意見交換が行われた。

報告第960号 賛助会員学習企画「奈良県 飛鳥を歩く」について

大竹副会長から、11月19日（日）に実施予定の賛助会員学習企画の見学会「奈良県 飛鳥を歩く」について、現在14名の申込があり、当日資料が完成したとの説明があり、了承された。

報告第961号 各委員会等における2023年度会議等報告について（その4）

1 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

大竹副会長から、社会科・歴史教科書等検討委員会が担当するカフェde考古学2023第5回「みんなで巡る旧石器時代全国遺跡ツアー」について、各発表者への手続きとして正式な依頼状の発出や映像資料等に関する著作権譲渡承諾書の提出を依頼したとの報告があり、了承された。

2 広報委員会の報告

大竹副会長及び野口理事から、10月11日（水）に委員会をオンラインで開催し、公式サイトのリニューアルについてこれまでの検討事項の確認や今後のスケジュールについて協議したことが説明された。まず野口理事から、公式サイト検討ワーキンググループにおいてデザインと現公式サイトから新公式サイトへのコンテンツの移行について検討し、①コンテンツの移行項目・掲載形態等については各委員会・事業に対しアンケートを行うとともに、現公式サイト及び現公式サイト以前の旧公式サイトから新公式サイトへ移行するページの選別を行った。②デザイン案について、情報の掲載場所を分かりやすくするためトップページのカテゴリ名の変更や個数を減らすとともに、パソコンでもスマートフォンで

も見やすく表示できるようにする提案があり、新公式サイトイメージ例が提示された。掲載コンテンツへの著作権の配慮やPDFの扱いについて意見交換が行われた。

続けて大竹副会長から、新公式サイト作成の発注方法を協議し、業務委託仕様書の作成には専門的な知識が必要なものの当会の制度上多段階発注は難しいことから、今年度に予定していたデザイン・構成変更やコンテンツ移行等の事業を来年度に延期し、来年度以降に予定していた総会・大会時の申込フォームや会員専用ページ等のシステムの導入を、プロポーザル方式で一体的な事業として来年度に行うことを検討しているとの説明があった。公式サイトリニューアル事業の上限額を設定し、評価選定には専門的なアドバイザーに加わってもらう方針を考えている。なお、この事業変更については改めて理事会に議案として提案するとの説明があり、了承された。

3 埋蔵文化財保護対策委員会の報告

藤野理事から、10月15日（日）に幹事会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①港区高輪築堤跡について、品川区西側（駅街区地区）の試掘の成果や羽田アクセス線関係の試掘等が始まる予定等の状況把握を行い、時機をみて保存要望を行うことを検討している。②南あわじ市門崎砲台跡について、要望書に対して回答があった。③広島市広島城跡について、広島市と面談を行った。④水俣市百間排水口及び樋門の解体について、事実関係を確認した上で今後の対応を検討する。⑤静岡県沼津市高尾山古墳について、工事の現状報告があったとの報告があり、港区高輪築堤跡における日本イコモスとの連携などについて意見交換を行った。

4 研究環境検討委員会の報告

亀田理事から、10月24日（火）に委員会をオンラインで開催し、10月11日（土）に実施した考古学研究会との大学向けアンケートに関する連携についての打合せ結果の報告を受けて検討した。実施スケジュールやアンケート内容、公開方法等を協議した上で、委員会のこれまでの活動の方向性に沿ったものであることから考古学研究会との連携の同意を委員会で得たとの報告があり、次回の理事会に改めて議案として提案することが求められた。

5 アーカイブス小委員会の報告

足立佳代理事から、業者に今年度の事業予定である『日本考古学年報』と『会員名簿』のスキヤニング業務の委託を行ったとの報告があり、了承された。

6 （仮称）著作権ワーキンググループの報告

佐藤副会長から、10月13日（金）に（仮称）著作権ワーキンググループを開催し、2017年に制定された日本考古学協会著作権規定における各印刷物の課題の把握を行うこととしたとの報告があり、了承された。

その他

1 アイヌ鎮魂式参列について

辻会長から、10月15日（日）に北海道白老町の慰霊施設において行われたアイヌ遺骨及

び副葬品の慰霊施設における鎮魂式に参列したことが報告された。

2 2024年度の各委員会等における予算書の提出について

肥後理事から、各委員会及び事業担当理事に、来年度予算要求案の作成及び期日までの提出が求められた。

以 上